

# 日本の舞踊家の現状と特性

若松美黄  
市川 稚

MODERN SITUATION AND THE TRAIT  
OF JAPANESE DANCERS, THE 5TH  
HONG KONG INTERNATIONAL  
DANCE CONFERENCE vol 2; HONG  
KONG,  
pp.319-333, 1990.

国際会議の共通テーマは「今日の舞踊出版物」であった。本稿では、パフォーミング・アーツに関わる統計文献を中心に紹介、舞踊に関わる内容を集め、日本的特性を考察したものである。

## 目的・方法

舞踊学の方法には「事実の発見」と「理解の構成」の二つがある。本論は日本の舞踊家についての統計資料を収集・類別し、そのなかから、理解の構成・舞踊家の特性を考察した。

## 文献資料の類別

①政府機関発行の諸統計～統計局その他各省の白書があるが、舞踊家に関しては、米のNEA、仏のINSEE、英のPSIなどの国立の機関がない。間接的には国勢調査等の資料、所得などの経済活動、生活時間、旅行、青少年の調査などが利用できる。②パフォーミング・アーツに関する三つの科研費プロジェクトとその構成員による研究～代表者から、三善レポート1987年、山崎レポート1988、永山レポート1990と類別。③関連分野の組織等から発行されるもの（余暇開発センター、芸団協、全舞連、筑波大学舞踊研究室）

## 事例資料の構成

①1989年、文化庁は38億円の予算、国家予算比0.07%～フランスは0.81%、11.6倍にあたる。②舞踊観客240万人、1970の22%増。③劇場の32%が1965-74年、44%が1975-84年に建築され、1400の劇場、130万の客席を持つ。④1985年延べ2.8億人が踊りに参加した。⑤85年国勢調査では舞踊家・俳優・演芸家数は5.5万人、当該女性の73.9%がインストラクター。90年推定舞踊家数は2万人、組織加盟者9,000人。⑥舞踊公演数は、合同公演を除いて全国2,000弱、モダンダンスの60.8%が東京で開催されるが、バレエは東京40.4%に過ぎず、同・日舞は51.8%となる。⑦年間公演数8.3日のバレエとモダンダンサー、但し調査に答えた人の平均年齢は49才のデータ、日舞は平均年齢61才で

4.6日。ただし舞踊家のなかでも多様であり、客演専門男性舞踊手は平均年齢31才（バレエ20、モダン15名）で平均35.5日となる。⑦教えは同上平均年齢のバレエ・モダンは149.6日、日舞118.4日となり、現代劇俳優の13.6日の10倍となる。⑧所得平均、同上平均年齢のバレエ・モダンで296万円と一般平均所得の半分以下、日舞では381万円と多く、しかも14%が不動産を運営している。しかしバレエ・モダンも家族の所得平均は985万円と一般平均を上回る。舞踊家男女の所得差は約100万円男性が多いが、家族所得は反対に女性が100万円多く、舞踊公演に使う費用も女性が多い。⑨舞踊家の53.9%の女性は結婚せず、また結婚相手に芸術家を選ぶのは13%に欠ける。男性では92%が結婚、しかも56%が芸術家妻を持つ。このことは所得とも関連する。⑩舞踊家の両親の35.8%は芸術家、その子供の52%は芸術職につく。但しアンケート回答集計なので、芸術家・芸術職などは曖昧な所も有るが、分野の異なる音楽家俳優などとは有意差が有る。⑪その他、若手女性ダンサーの体格の変化・意識調査、ソロ作品の出の傾向、個別作品分析、指導研究等略。

## キー発想

こうした個別のデータを見ながら、日本における舞踊家像の特性をキー発想し、一つだけ取り上げ、世界に理解してもらおうとしたら、家族像の特性が取り上げられる。

舞踊家は日本経済の発展と無縁に最低の所得を得ながらも、それほど貧困と思わず、家族に支えられて高い生活水準を維持していること、しかもその家族には芸術的環境があることがわかる。ここには心付け、ご祝儀、気配り集団としての社会が存在することを内包している。

一方、中小バレエ団などの国際コンクール等で活躍するグループを見ると、師弟を越え一種の家族的結合が形成され、成果を上げていること。日本における舞踊の師弟方式は、ジャンルを問わず家族的な結びつきで成果を上げやすいこと。あるいはバレエ、モダンダンスにおいても二代目、三代目が持て囃されること、襲名制度を洋舞でも取り入れたこと、そもそも流派や派閥が活力を持って居る現実、舞踊の周辺に、家族・家元・流派に対する肯定の思想が指摘出来よう。

つまり、経済発展に無縁な存在に見えながら、現実では恩恵を受け、それなりの生活の豊かさをエンジョイし、家族への強い気配りを持ち、伝統に対する継承性を持つ。この家族類型は天皇制の投射ではないか。

前日のシンポジウムに引き続いていたため、議論として天皇制に根を持つ家族構成をポイントとして締めくくった。